

平成24年度 事務事業マネジメントシート

事業名	見舞金支給事業			会計	款	項目	大事	小事	
				01	03	01	01	05	01
政策	04	4節 誰もが充実した生涯をおくることのできる流山（市民福祉の充実）	主管課	社会福祉課					
施策	4-5	地域で支える福祉のまちづくり	主管課長	村越 友直					

I 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	特定疾病等療養者、原子爆弾被爆者、災害被災者	意図	特定疾病療養者又はその保護者、原子爆弾被爆者の闘病若しくは労苦に報いる。自然現象又は火事により家屋に災害が発生した世帯を支援する。
事業内容	特定疾病の療養者・原爆被爆者・災害に遭った市民に見舞金を支給する。			
事業開始から現在までの状況変化	昭和52年4月に特定疾病療養者又はその保護者に見舞金を支給し、労苦に報いることを目的に開始した。支給対象者が人口の伸びに比例して増加している。また、市独自の疾病も対象としている。平成21年度には、国の基準に合わせ新たに11疾病を加えて現在61疾病が対象となっている。			

II 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	名称	平成22年度	平成23年度	平成24年度	単位	目標方向	算定式（成果指標の場合）
	①	特定疾病療養者見舞金	1,668	1,697	1,808	人	↘↘
②	被爆者健康管理見舞金	89	83	79	人	→→	10,000円×対象者数
③	災害見舞金	3	616	4	件	↘↘	火災4件90,000円（30,000円×1件、20,000円×3件）
④	見舞金支給額	67,690	74,950	73,200	千円	↘↘	
指標で表すことができない定性的な成果							目的に対する現状（客観的事実・データに基づく現在の状況や取組状況） ・人口増加に伴い、特定疾病見舞金対象者が増加している。 ・支給対象となっている、61疾病のうち市独自の疾病の占める割合が多い。 ・平成22年度より千葉県肝炎治療特別推進事業の所助成対象の拡大に伴い、難治性肝炎患者の支給対象者が増加している。 ・原爆被爆者は新規に認定される者がいないことから転入による増加はあるものの減少すると考えられる。 ・災害見舞金については、自然災害及び火災等が予測できないことから増減を推測することは難しい。
事務事業のコスト		平成22年度	平成23年度	平成24年度			
事務事業の総コスト(a=b+c)		67,831,285	74,950,000	73,200,000			
事業費(b)(円)		67,831,285	74,950,000	73,200,000			
うち一般財源		67,831,285	74,950,000	73,200,000			
職員給与費(c)(円)							
人役・職員(人)							
人役・再任用(人)							
人役・臨職(人)							
人役・嘱託(人)							
初期投資コスト(円)（建設又は取得年度のみ記入）							
想定耐用年数（年）（建設又は取得年度のみ記入）							

III 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善 <※主管課長記入>

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	A 必要性が高まると考えられる	有効性	目標達成度	A 達成できた
		市関与の必要性	A 市が担うべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
総合評価	III 要改善（事業は継続するが、更なる改善が必要）					
					コストの削減	B 削減の余地がややある

(2) 事務事業の業務改善について

①今年度(H24)の改善計画	特定疾病見舞金について、対象疾病及び支給額の検討を行う	③取り組みの課題	国の動向を見守り、確定次第、取り組む
②今年度(H24)に実施した取り組み	特定疾病については、国の難病対策制度の見直しが見込まれるため、今年度は取り組みはしなかった	④今後の改善計画	・対象疾病の検討 ・支給額の検討